

News Release



【注】

この報道用資料は2005年3月9日に香港で発表されたアジア太平洋地域版の和訳です。アジア太平洋地域版のニュースリリースでは、アジア太平洋地域の業績から、アフリカでの売上高を省いておりますが、同日配信のドイツ本国版のニュースリリースでは、アジア太平洋地域の業績にアフリカの売上高を含めております。

決算数値の詳細に関しては、参考資料をご用意しておりますので必要な方はBASF・広報(03-3238-2341)までご連絡ください。

2005年3月10日

BASF、2004年(1～12月)業績を発表

- 2004年度の売上高は13%増の375億ユーロ
- 特別項目を除くEBIT(利息・税金控除前利益)は64%増の49億ユーロ
- 資本コストを18億ユーロ上回る収益
- 2004年度のアジア太平洋地域の売上高は19%増の53億ユーロ
- 2005年通年の展望:売上高、特別項目を除くEBIT(利息・税金控除前利益)ともに、好調だった2004年の水準から若干の上積み

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、2004年通期の業績を発表しました。2004年度は高い目標を設定したにもかかわらず、それらを達成することができました。BASFのユルゲン・ハンブレイト取締役会会長は、「BASFの全従業員が一丸となって最高の能力を発揮し、すべての株主の皆様に価値を創造する企業であることをあらためて示しました」と述べています。

BASFはここ数年で初めて、資本コストを回収しただけでなく、資本コストを18億ユーロ上回る収益を達成しました。製品数を増やしましたが、原材料価格の大幅な上昇を製品価格に転嫁することができました。

熾烈な競争環境にありながら、総売上高を13%増加させ375億ユーロとしました。特別項目を除くEBIT(利息・税金控除前利益)は64%の大幅増となり、49億ユーロを計上しました。売上高と利益は、全部門で増加しました。特に化学品部門では、売上高が22%増、特別項目を除くEBIT(利息・税金控除前利益)が167%増加しました。

BASFは2004年、引き続きコスト削減を目的とする事業再構築を実施しました。現在も進行しているプロジェクトがあり、全て予定通りに進んでいます。BASFでは、2006年末までに年間およそ7.5億ユーロのコスト削減を目指しています。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL:<http://www.basf-japan.co.jp>

アジア太平洋地域での売上高とEBIT(利息・税金控除前利益)について

アジア太平洋地域の売上高は、為替の影響があったにも関わらず、特に中国、韓国、アセアン諸国、インドで大きく伸び、全体では19%増の53億ユーロでした。中でも、プラスチック・化学品部門、及び機能性ポリマー事業は大変好調で、2桁増の売上達成に貢献しました。

利息・税金控除前利益(EBIT)は、2003年度と比較して1.4億ユーロ増加し3.4億ユーロとなりました。プラスチック部門と高機能製品部門が増益に大きく寄与しました。プラスチック部門は、韓国でのTDIとMDIの生産能力の増強により、利益率と販売量が増加し、利益の拡大につながりました。高機能製品部門は売上高が増加し、生産キャパシティの改善が好結果に繋がりました。

BASF株について

2004年、BASFの株価は23%上昇し、EURO STOXX(SM) 50インデックスやドイツのDAX 30インデックスを上回るパフォーマンスでした。取締役会は定例会議において、2004年の配当を30ユーロ/セント増配し、1株あたり1.7ユーロとすることを決めました。20%以上の増配となります。

2005年通年の見通し

2004年の業績が大きく改善したことを受け、今後の中期的な見通しは良好です。ユルゲン・ハンブレヒト会長は今後の見通しについて次のように述べています。

「政治的に問題のある地域の現状がさらに悪化せず、経済環境の突然の変調がないことを前提としています」としながらも、「1月、2月の業績は大変心強い結果で、今後の数カ月間の全体的な展望に関しては自信を持っています。2005年は売上高の微増を見込み、2004年に記録した特別項目を除くEBIT(利息・税金控除前利益)の高水準を維持できると考えます。資本を上回るリターンも見込んでおります。今後も製品群の最適化、効率性の改善、コストの削減に取り組んで参ります」。

BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーカンパニーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技術の開発とそれらを使用することで、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功と環境保護、社会への責任を融合させることでより良い未来に貢献しています。2004年度は約8万2,000人の従業員を雇用し、370億ユーロ以上の売上高を計上しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、パリ(BA)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスはwww.basf.comです。BASFジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスはwww.basf-japan.co.jpです。

本件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 田所(たどころ)

Tel. 03-3238-2341

「前向きな記述」に関して

この文書には1995年のPrivate Securities Litigation Reform Actの意味する「前向きな記述」が含まれています。これらの記述は現在の期待、BASFの経営に対する評価および予測、現在入手可能な情報に基づいたものです。これらは将来の業績を保証するものではなく、予測が困難な一定のリスクと不確実性を含んでいるほか、将来のできごとに関する、正確とは限らない仮定に基づいています。BASFの実際の結果、業績、達成事項は、多くの要因によってこれらの記述が明示的または黙示的に示したものと大きく異なる場合があります。これらの要因に関する詳細な情報はBASFが証券取引委員会に提出した報告書(Form 20-F)に記載されています。この文書に記載された前向きな記述に関しては、BASFは更新の義務を負いません。